

とおちっ子

十市小学校だより第30号

令和6年12月12日

文責 藤川 尚司

天気予報によればこの時期らしい気温とのことです。夏から秋にかけての気温が高かったせいか、例年以上に寒いように感じてしまいます。急な冬の訪れに、心構えが追い付いてないのかもしれません。

ところで、全国的にインフルエンザの流行期にあるようです。本校でも先週以降にインフルエンザに罹患したとの連絡が入るようになりました。まだ数件の連絡ではありますが、流行期なので油断はできません。寒い時期ではありますが、今週から教室の換気に注意するようにしました。

なお、マイコプラズマ肺炎などの感染症もまだまだ見られます。子どもに風邪の症状や発熱がある場合には登校を控えて、病院で受診されるようお願いいたします。また、受診して感染症の診断があった場合には、学校にもご一報いただきますようお願いいたします。

学校運営協議会

12月6日（金）に、本年度2回目の学校運営協議会を行いました。5月に行った第1回目の折にご紹介したように、この会は学校の経営状況等についてご意見をいただき、教育活動の充実と改善を図るために催しています。今回は、本年度の学校の教育活動を評価していただくために、学校の現状について様々なデータなどをもとに説明をしました。

各種アンケートの結果を見ると、子どもたちによる学校生活の受け止めはおおむね良好な状況にあります。ただ、学校の願うところは、例えば「学校が楽しいですか」という設問に対して、「とても（そう思う）」と「強肯定」で答える子どもがもっと増えることです。目標はやや高いですが、様々な活動を通して「強肯定」の割合を高めることができるよう努力したいと思います。

また、保護者の皆さんからのアンケートからは、学校をあたたかく見守っていただいていることが伝わってきました。特に、学校からの情報発信

に対して、とても好意的に受け止めていただいていることをありがたく思いました。これからも保護者の皆さんのご理解とご支援をいただけるよう、子どもたちの活躍や学校の取り組みなどの発信に努めていきたいと考えています。

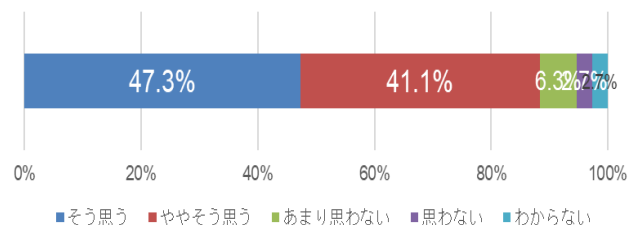
こうしたことを委員の方にもお伝えし、学校の評価をいただきます。いただいたご意見を参考にしながら、次年度の学校づくりを進めていきます。

この学校運営協議会では、他にも学校の当面する課題の解決に向けた方策についても意見をいただいています。

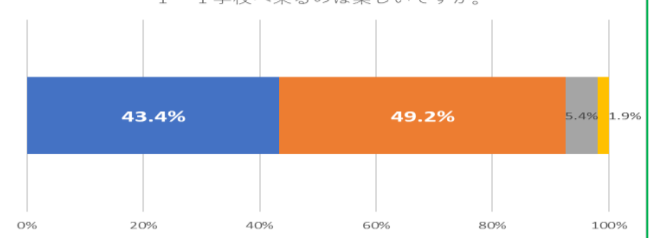
本校に限らず、現在の学校は、教育課程（学校で扱う教科や時間数の枠組み）や学校業務の増大、人員確保の問題、気候変動による学校運営への影響など、これまでにない様々な困難に直面しています。そのため、従前から行ってきたことを見直し、整理や削減、精選をしていかなければ、早晚学校はくたびて活力を失ってしまうことになりかねません。こうした課題意識をもって、学校運営協議会ではできる工夫についても協議していただいています。

今回は校時表の変更と下校時刻の変更、今後の学校行事の実施時期についてご協議いただきました。学校として

9. 学校は家庭への連絡や情報提供を積極的に実施していますか。



1-1 学校へ来るのは楽しいですか。



は、委員さん方のご意見も踏まえ、①現行の校時表をシンプルにするとともに、下校時刻を基本的に16時に設定することで、学校生活全般にゆとりを生むこと、②夏季は屋外での活動が困難であることや全市的行事との兼ね合いを考慮して、運動会の開催時期を遅らせるとともに修学旅行の実施時期を見直すことを、具体する方向で検討を進めていきます。

なお、会議では子どもたちの様々な表情の画像も委員の皆さんに紹介しました。いろんな場面の子どもの姿に触れて、委員さん方からはほほ笑みが漏れていました。あらためて、子どもたちが自分への信頼を持ち、豊かな表情にあふれる十市小学校であり続けたいとの願いを抱きました。